

平成 20 年 9 月 11 日  
沖縄電力株式会社

## 電気事業連合会 副社長会見について

電気事業連合会加盟各社は、エネルギー記者会において、毎月(8月を除く)持ち回りで社長および副社長の定例記者会見を行っております。

本日、下記のとおり、当社副社長石川清勇が会見を行いましたので、お知らせいたします。

### 記

1. 日 時 : 平成 20 年 9 月 11 日(木) 15:00
2. 場 所 : 経団連ビル 電事連 501 会議室(東京都千代田区大手町)
3. 出席者 : エネルギー記者会加盟各社
4. 配布資料 :
  1. 最近の沖縄経済の動向について
  2. 電力需要の動向について
  3. 電力流通部門の技術訓練施設の概要について

以 上

## 1. 最近の沖縄経済の動向について

### ○ 現状

最近の県内経済は、観光が引き続き好調ながら、堅調な個人消費に弱い動きも見られ始め、住宅着工が引き続き前年を下回るなど、概ね横ばいの動きを続けています。

- ・ 個人消費 …… 全体としては堅調に推移しているものの、ガソリンや食料品等の価格上昇に伴う消費者の生活防衛姿勢から弱い動きも見られ始めています。
- ・ 建設関連 …… 公共工事は前年を上回ったものの、住宅着工戸数は前年の建築基準法の改正に向けた駆け込み着工の反動等により、前年を下回っています。
- ・ 観 光 …… 入域観光客数は2月以降6ヶ月連続の過去最高を記録して、引き続き好調に推移しています。
- ・ 雇 用 …… 完全失業率は、依然として高い水準にあります。

### ○ 先行き

先行きについては、当面、一進一退の状況がづくと思われます。

### 主要経済指標(伸び率)の推移

(単位:%)

項 目	18年度	19年度			20年度
		上期	下期	年度計	4~7月
大型小売店売上高	▲2.0	0.9	0.8	0.8	0.2
新車販売台数	0.2	▲2.7	2.3	▲0.3	▲0.6
家電卸出荷額	7.0	2.4	0.8	1.7	6.3
新設住宅着工戸数	13.5	▲34.5	▲48.8	▲40.8	▲13.9
公共工事請負金額	▲4.0	1.8	▲11.3	▲5.6	7.6
入域観光客数	2.4	4.9	1.7	3.3	6.4
完全失業率	7.6	7.6	6.9	7.3	7.6
企業倒産金額	▲21.1	▲58.5	▲73.9	▲68.9	1,069.0

注①: 大型小売店売上高は全店舗ベース、7月速報値。

注②: 家電卸出荷額は概算値。

注③: 完全失業率は原数値。

[データ出所: 沖縄総合事務局、沖縄県、おきぎん経済研究所、他]

## 2. 電力需要の動向について

### ○平成20年度4～7月の電力需要

ほぼ前年並みの24億1千8百万kWhとなりました。

(前年同期比0.1%増)

#### ・民生用需要

家庭用電灯や業務用電力においてお客さま数の増加があったものの、電灯において検針期間が前年に比べ短かったことにより、ほぼ前年並となりました。

#### ・産業用需要

大口電力において、鉄鋼業等で需要増があったことなどにより、前年を上回りました。

### 平成20年度4～7月 用途別需要実績

(単位：百万kWh)

		H20実績 A	H19実績 B	増減 A-B	前年比 A/B(%)	備考
電 灯 計		911	929	△ 18	98.1	ご家庭の電気
業 務 用		886	866	20	102.3	ホテル、百貨店・スーパーなど
小 口	低 圧	167	170	△ 3	97.8	商店、運輸通信業など
	高 圧 A	144	149	△ 5	97.2	食料品製造業、水道業など(契約電力500kW未満)
	計	311	319	△ 8	97.5	
大 口		295	285	10	103.4	食料品製造業、水道業など(契約電力500kW以上)
そ の 他		15	15	0	97.0	深夜電力、臨時電力(工事用電力)など
電 力 計		1,507	1,485	22	101.5	
電灯電力計		2,418	2,414	4	100.1	
(再 掲 需 要 規 模)	業 務 用	195	194	1	100.3	
	産業用その他	210	198	12	106.2	
	計	405	392	13	103.3	

### 【参考】

(単位：百万kWh)

	H20実績 A	H19実績 B	増減 A-B	前年比 A/B(%)
民生用需要	1,979	1,980	△ 1	99.9
産業用需要	439	434	5	101.3
合 計	2,418	2,414	4	100.1

民生用＝合計－産業用

産業用＝高圧A＋大口(高圧B＋特定規模需要(産業用))

○ 今夏（４～７月）の電力需給について

- ・ 最大電力（発受電端）  
今夏の最大電力は、７月８日（火）１４時～１５時までの間に発生しました１４８万５千kWでした。
- ・ 日電力量（発受電端）  
今夏の日電力量の最大は、７月４日（金）に発生しました３，０９４万kWhでした。
- ・ 最大電力需給バランス（発受電端）  
当社は独立系統であり他社からの融通が不可能であることから、最大ユニットの事故時においても安定供給が可能となるよう供給予備力を確保しています。

（単位：千kW）

最大電力	1,485
供給力	1,982
供給予備力	497
供給予備率	33.5%

○ 平成２０年度の需要見通し

対前年伸び率０．５％の７５億２千５百万kWhを見込んでいます。

- ・ 民生用需要  
家庭用電灯における口数の安定した伸びや、業務用電力でのお客さま数の増加が見込まれます。
- ・ 産業用需要  
食料品製造業を中心に安定した伸びが見込まれます。

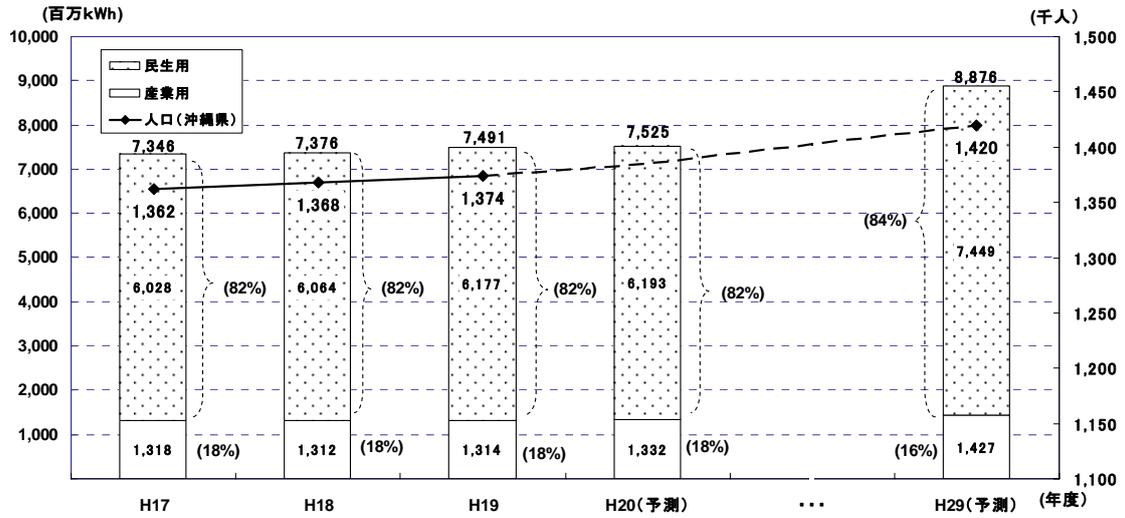
※ 電力需要は、気温の変動によって大きく増減することから、過去の実績値より気温の影響を除いてから予測を行っています。（気温補正）  
また、平成１９年度が、うるう年であることを考慮すると、  
気温うるう補正後の平成２０年度の対前年伸び率は、１．５％となります。

○ 長期需要見通し

人口の増加にともない、民生用を中心とした電力需要の安定した伸びが見込まれます。

平成２９年度の電力需要は、８８億７千６百万kWh、平成１８年度から平成２９年度に至る年平均伸び率は、１．７％（気温補正後１．８％）と想定しています。

## 人口と電力需要の推移



平成29年度に至る電力需要見通し

(単位：百万kWh、%)

	H8年度 (実績)	H18年度		H19年度		H20年度		H29年度 (想定)	年平均伸び率	
		(実績)	伸び率	(実績)	伸び率	(見通し)	伸び率		8~18年度	18~29年度
民生用	電 灯	(2,333)	(2,868)	(▲0.4)	(2,920)	(1.8)	(2.1)	3,532	(2.1)	(1.9)
		2,358	2,881	▲0.7	2,945	2.2	2,982		1.3	2.0
	業務用他	(2,492)	(3,120)	(2.3)	(3,180)	(1.9)	(1.0)	3,917	(2.3)	(2.1)
	2,544	3,183	1.8	3,232	1.6	3,211	▲0.7		2.3	1.9
計	(4,825)	(5,988)	(1.0)	(6,100)	(1.9)	(1.5)	7,449	(2.2)	(2.0)	
4,902	6,064	0.6	6,177	1.9	6,193	0.3		2.2	1.9	
産業用	高压B他	1,104	1,312	▲0.5	(1,311)	(▲0.1)	(1.7)	1,427	1.7	0.8
1,104	1,312	▲0.5	1,314	0.2	1,332	1.4				
合 計	(5,929)	(7,300)	(0.7)	(7,411)	(1.5)	(1.5)	8,876	(2.1)	(1.8)	
6,006	7,376	0.4	7,491	1.6	7,525	0.5		2.1	1.7	

※ ( ) は気温うるう補正後

民生用=合計-産業用

産業用=高压A+大口(高压B+特定規模需要(産業用))

## 電力流通部門の技術訓練施設の概要について

当社の電力流通部門が、「ものに触り、しっかりした技術を身につける」というコンセプトのもと建設をすすめておりました、技術訓練施設が平成 20 年 9 月 3 日（水）に竣工しましたのでお知らせします。

### 1. 背景

電力の安定供給確保のためには、日々繰り返されていく業務を間違いなく着実にこなすことに加え、これまで以上に、一人ひとりの社員が、より高度な技術を習得すると共に、効率的かつ合理的な設備保守技術の向上を図る必要があります、その果たす役割は、近年、益々重要性を増してきております。

当社では、電力の安定供給を念頭に電力流通設備の効率的な構築・運用に向け取り組んでおりますが、現場業務の委託化に加えて労務構成の急速な若年化から、現場技術の効果的な維持・継承が喫緊の課題となっています。

この課題を克服するため、「ものに触り、しっかりした技術を身に付ける」ことを目指し、実際の現場と同じ設備を用いることにより現場技術や設備診断技術を安全かつ十分に訓練できる総合的な訓練施設建設に向け、平成 17 年から仕様検討等を開始し、平成 20 年 9 月 3 日（水）に無事故・無災害にて竣工を迎えることができました。

### 2. 技術訓練施設の概要

#### （1）施設の概要

名 称：電力流通部 技術訓練施設

建設地：沖縄電力株式会社 本店構内（沖縄県浦添市牧港五丁目 2 番 1 号）

工 期：平成 19 年 1 月～平成 20 年 9 月

施設概要（表 1 参照（次項））

敷地面積：5,400m<sup>2</sup>

①屋外設備：架空線実習設備、地中線実習設備

②技能実習館：

構 造 鉄骨コンクリート造（地上 3 階建）

延べ床面積 1,800m<sup>2</sup>

館内設備 変電実習設備、通信実習設備、保護制御実習設備、総合座学研修設備

表 1. 技術訓練施設の概要

施設名	付属設備
架空線実習設備（屋外設備）	鉄塔、 <sup>ちゅうのり</sup> 宙乗訓練鉄塔、電柱、電線
地中線実習設備（屋外設備）	電力ケーブル、管路、人孔
変電実習設備（技能実習館 1F～2F）	変圧器試験装置、遮断器試験装置
通信実習設備（技能実習館 3F）	光多重端局装置、光ケーブル
保護制御実習設備（技能実習館 3F）	監視制御盤、保護装置、遠制装置
総合座学研修設備（技能実習館 3F）	

(2) 研修の概要

教育訓練者（講師）：当社熟練社員、関係会社熟練社員、メーカー技術員

被訓練者：当社社員、関係会社社員、社外実習生（学生、JICA 等）

研修内容：表 2 参照

表 2. 研修内容

施設名	研修内容
架空線実習設備 （屋外設備）	昇柱・昇塔訓練、検電・接地手法訓練、延線・緊線工法訓練など
地中線実習設備 （屋外設備）	電力ケーブル絶縁診断訓練、電力ケーブル故障点探索訓練など
変電実習設備 （技能実習館 1F～2F）	遮断器・変圧器の概要及び実習
通信実習設備 （技能実習館 3F）	回線の設計・設定、回線保守管理訓練、光端局装置の故障対応訓練
保護制御実習設備 （技能実習館 3F）	継電器実習、実機応動によるシーケンス試験、遠方監視制御実習
総合座学研修設備 （技能実習館 3F）	技術訓練時の座学研修（オリエンテーション、講義、まとめなど）

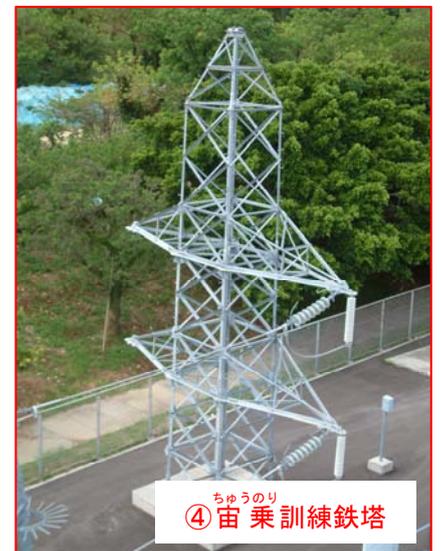
3. 今後の予定

今後は、研修カリキュラムの充実を図るとともに、本施設における指導者・インストラクターの育成も図っていきます。

また、本施設を利用した総合防災訓練等での活用や、社外実習生（JICA 集団研修、大学生企業研修、小中学生職場体験学習等）への研修あるいは保守・点検工法の改善検討なども行っていく予定です。

4. 訓練施設写真(敷地面積：約 5,400 m<sup>2</sup>、建屋床面積：約 1,800 m<sup>2</sup>)

①技術訓練施設全景



以上